



(様式1-1)

庭園間交流連携促進計画

富士・箱根・伊豆
「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム

令和元年5月

富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム協議会

取組の将来像（ビジョン）

<富士・箱根・伊豆地域の魅力>

- 富士・箱根・伊豆地域は、富士山、各種火山地形や温泉、変化に富む海岸線など、多様な景観、動植物に恵まれ、当該エリアを区域とする「富士箱根伊豆国立公園」は日本で来訪者が最も多い国立公園となっています。
- また、伊豆半島と箱根はジオパークにも認定されており、地球活動が生み出した地形や地質、それらと深くかかわりのある人々の暮らしや歴史、食べ物などを楽しむこともできます。



千本松原越しの富士



箱根ジオパーク大涌谷

<「皇室ゆかりの庭園」の魅力発信>

- こうした多くの魅力にあふれた富士・箱根・伊豆地域は、明治以降、離宮や御用邸、別邸の用地として選ばれ、皇室の方々やご来賓をお迎えする場として、建物だけではなく、美しい庭園も造られました。今日では、これらの由緒ある庭園は、人々に公開され、憩いと楽しみを提供していますが、周辺の多くの観光資源に埋もれ、認知度は必ずしも高くありません。
- こうした中、「皇室ゆかりの庭園」が連携し、その魅力をPRすることで、これらの庭園の歴史的・文化的価値を広め、庭園文化・技術の伝承を図ると共に、地域振興に貢献します。

（構成庭園）



沼津御用邸記念公園
（西附属邸）



三島市立公園楽寿園
（小浜池・満水時）



恩賜箱根公園
（二百階段）

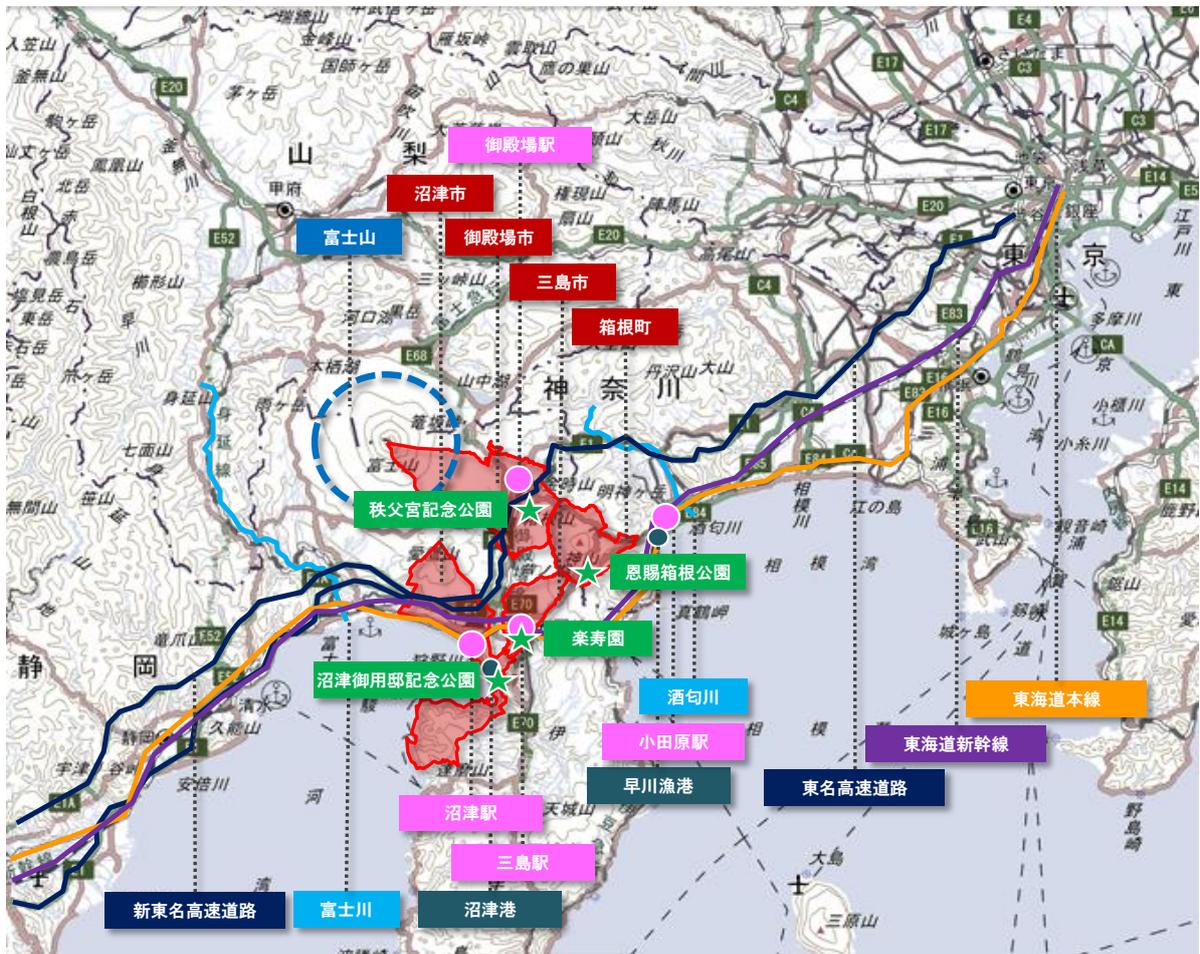


秩父宮記念公園
（母屋）

<観光需要の増加による地域振興>

- これらの庭園には、皇室ゆかりという点だけでなく、富士山を仰ぎ見る景観など富士山の恵みを受けた庭園であること、マメザクラ、カワヅザクラ、シダレザクラなど桜の名所であること等の共通点もあります。
- また、これらの庭園がある沼津市、三島市、御殿場市、箱根町をはじめ、富士・箱根・伊豆地域には観光施設や、宿泊、飲食・特産品販売施設など多くの観光資源があり、さらには、道路網及び、鉄道・バス・船・ロープウェイなど多様な公共交通機関も整備されています。
- 「皇室ゆかりの庭園」を巡るといふ、新たな富士・箱根・伊豆地域の楽しみ方を発信することにより、本地域でのインバウンドを含めた観光客のさらなる増加及び周遊を図り、滞在時間を延ばすことで、宿泊・飲食・物販等の需要を喚起します。このように、本地域の新たな楽しみ方を地域から企画・発信するという着地型観光の視点から、地域の一層の活性化に貢献します。

取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）



構成庭園の位置図（地図等）





【周辺観光施設】東山旧岸邸、富士仏舎利塔 平和公園
YMCA 東山荘、東山湖



【周辺観光施設】菊華荘、旧閑院宮別邸、箱根神社、箱根関所
成川美術館



【周辺観光施設】沼津港、千本浜、沼津港深海水族館
伊豆シーパライク



【周辺観光施設】三島幼ウォーク、三嶋大社、三嶋暦師の館
国指定史跡山中城址、柿田川湧水群

自家用車周遊例

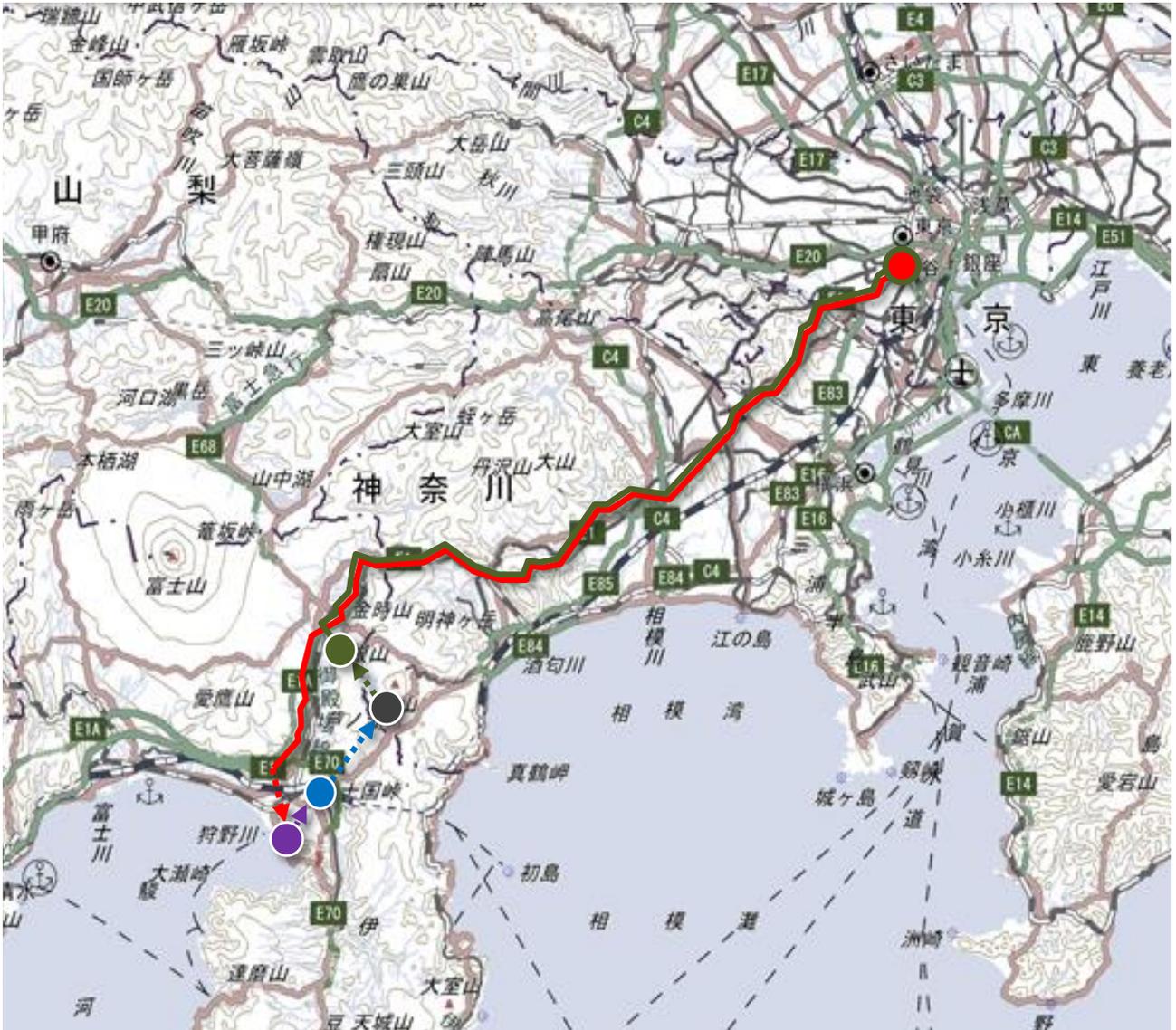
【チェックポイント1】 東京IC→(東名高速道路・一般道路)→沼津御用邸記念公園 移動時間：1時間40分

【チェックポイント2】 沼津御用邸記念公園→(一般道路)→三島市立公園楽寿園 移動時間：30分

【チェックポイント3】 三島市立公園楽寿園→(一般道路)→恩賜箱根公園 移動時間：35分

【チェックポイント4】 恩賜箱根公園→(一般道路)→秩父宮記念公園 移動時間：40分

【チェックポイント5】 秩父宮記念公園→(東名高速道路・一般道路)→東京IC 移動時間：1時間5分 **合計移動時間：4時間30分**



公共交通機関周遊例

1日目【チェックポイント1】 新宿高速バスターミナル→(小田急箱根高速バス)→御殿場駅→(富士急行バス)→秩父宮記念公園

移動時間：1時間50分

【チェックポイント2】 秩父宮記念公園→(箱根登山バス)→仙石→(小田急箱根高速バス)→桃源台港→(海賊船)→箱根町港→(恩賜箱根公園)

移動時間：1時間15分

【宿 泊】 富士屋ホテル(菊華荘)、強羅花壇(旧閑院宮別邸)等

2日目【チェックポイント3】 箱根町港→(東海バスオレンジシャトル)→三島駅→三島市立公園楽寿園 箱根フリーバス乗り降り自由エリア

移動時間：55分

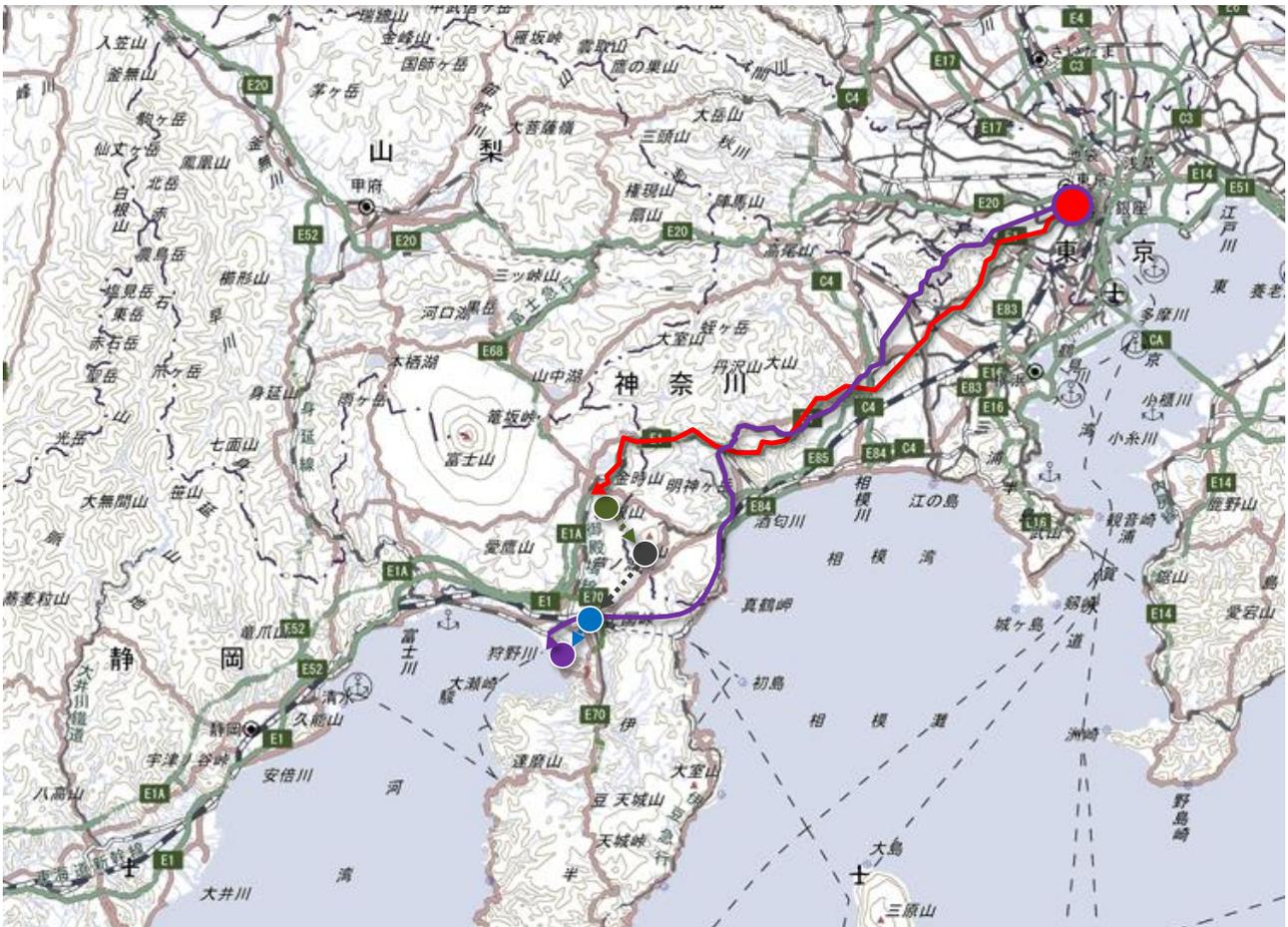
【チェックポイント4】 三島市立公園楽寿園→三島駅→(東海道本線)→沼津駅→(伊豆箱根バス)→沼津御用邸記念公園

移動時間：30分

【チェックポイント5】 沼津御用邸記念公園→(伊豆箱根バス)→沼津駅→(東海道本線)→小田原駅→(小田急ロマンスカー)→新宿駅

移動時間：2時間45分

合計移動時間：7時間15分



地図データは国土交通省国土地理院地図引用

(<http://www.gsi.go.jp/>)

計画のテーマ

- 富士・箱根・伊豆地域は、地域資源である温泉、海浜地から山地まで立地ごとの彩り豊かな景観、避暑地や避寒地となる気候条件、そして東京から近いという好条件等から、明治以降、離宮や御用邸、皇室別邸が造られました。

恩賜箱根公園＝箱根離宮（明治19年）

「箱根の温泉治療効果」にいち早く注目したドイツ人医学者ベルツが皇太子殿下(後の大正天皇陛下)の健康を願って離宮建設を奏上。

三島市立公園楽寿園＝小松宮彰仁親王殿下御別邸（明治24年）

小浜の地は富士山噴火により流れ出た三島溶岩流の末端にあたり、小浜池など湧水が豊かな土地。軍人であった小松宮彰仁親王殿下が富士での演習の際、三島に立ち寄り、小浜の地を気に入り造営。

沼津御用邸記念公園＝沼津御用邸（明治26年）

気候が温暖な上、前面に駿河湾・背後に富士山という風光明媚な別荘地。東海道本線が開通し、交通の便が良くなったこともあり、皇太子殿下(後の大正天皇陛下)のご静養のため造営。

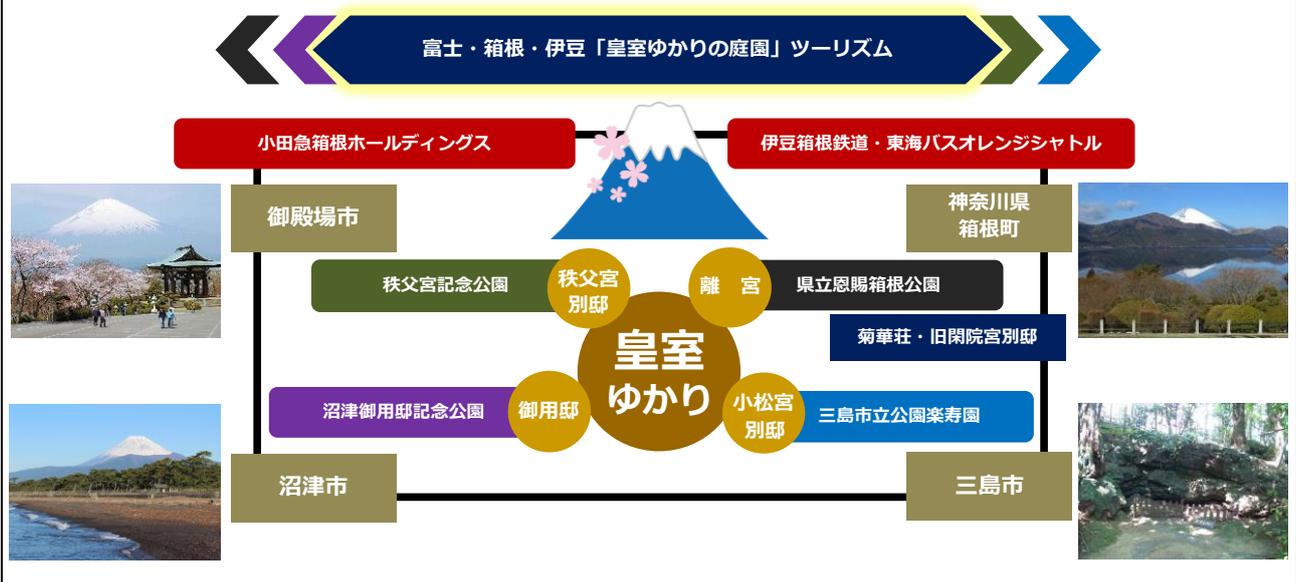
秩父宮記念公園＝秩父宮雍仁親王殿下御別邸（昭和16年）

御殿場は、東海道本線の開通により、東京から近い高原の避暑地、別荘地として明治中期から開発。秩父宮雍仁親王殿下の療養を目的として当地に別邸が置かれた。

※ 東海道本線は明治 22 年に御殿場経由で開通しました。その後、昭和 9 年に丹那トンネルが開通し、ルートが熱海・三島経由に変更されました。

- 離宮等の跡地に広がる「皇室ゆかりの庭園」は、いずれも日本の歴史公園 100 選に選ばれるなど、由緒ある庭園であり、歴史的・文化的価値の高い庭園です。また、その歴史的背景や立地ごとの景観等から、各々が個性的な魅力を有しています。これらの庭園が連携し、関連施設や交通事業者、観光協会等とも協力しながらその魅力をPRすることで、多くの方にご来園いただき、各々の庭園の皇室とのゆかり、歴史的・文化的価値を感じていただきたいと思います。

こうした取組により、庭園文化・技術の伝承を図るとともに、地域振興に貢献します。



構成庭園の特色

	名 称	特 色
1	神奈川県立 恩賜箱根公園 (神奈川県箱根町)	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>箱根離宮は、日本の皇室の方々のほか、外国の皇室等の来賓も多く訪れました。離宮の建築物は震災により被災し取り壊されてしまいましたが、その遺構や、正面傾斜地の園路など往時の施設の痕跡が現在も残されています。また、離宮の西洋館を模して造られた「湖畔展望館」には、箱根離宮建設計画から完成までの資料、往時の宮殿や庭園の写真、離宮を訪れた来賓の記録などが展示されています。来園者が庭園や展示を巡ることで、離宮の歴史と浪漫を感じられます。</u> ○ 平成 25 年には、箱根離宮の痕跡を生かした公園整備が行われていること等が評価され、国の登録記念物(名勝地関係)となりました。 芦ノ湖、箱根外輪山、富士山などを望みできる良好な立地。正面の傾斜面に設けられた園路、馬場跡、塔の鼻広場、二百階段など往時の箱根離宮の施設の痕跡が残されているほか、当時の地形、施設の痕跡を生かした公園整備が行われており、近代における造園文化の発展に寄与した意義深い事例とされています。 ○ 桜(マメザクラ)、アセビ、ヤマユリなど四季折々の花が楽しめるほか、キャラ玉などの造形美も見どころ。
2	三島市立公園 楽寿園 (静岡県三島市)	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>小松宮彰仁親王殿下や李王世子殿下が滞在された旧別邸は、「楽寿館」として一般公開されており、京間風高床式数寄屋造りの建物は三島市の文化財として指定され、館内の装飾絵画は静岡県の文化財に指定されています。</u> <u>楽寿館の前には、三島溶岩流やその上に実生した自然林、小浜池やせりの瀬などの溶岩下の伏流を活かした庭園が広がり、現在もその景観が保持されています。小松宮彰仁親王殿下は、別邸で地元三島の市民を招いて、園遊会を催したとの記録もあり、楽寿館や庭園を巡ることにより、往時の皇室の方々の営みや市民との交流などに思いをはせることができます。</u> ○ 天然池泉と周囲の自然林からなる庭園は、昭和 29 年に史跡名勝天然記念物に指定されました。 約 1 万年前の富士山の噴火の際に流れ出した溶岩(三島溶岩流)の露出及びその上に発達した自然林がよく保存されています。また溶岩下の伏流が出水期には清冽な水源をなし流れ出ています(小浜池等)。平成 30 年にはユネスコより世界認定された伊豆半島ジオパークのジオサイトに認定されています。 ○ 桜(カワヅザクラ)、アセビなどの四季折々の花や自然林や野鳥なども見どころ。
3	沼津市立 沼津御用邸 記念公園 (静岡県沼津市)	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>沼津御用邸は明治 26 年以降、昭和 44 年に廃止されるまで、大正天皇陛下や昭和天皇陛下、上皇陛下、今上陛下はじめ、多くの皇室の方々が来訪されました。昭和 20 年の空襲により本邸は消失したものの、東附属邸学問所や西附属邸御殿は現存しています。</u> <u>東附属邸では現在も文化講座や茶会などが催され、西附属邸は当時使われていた家具備品も保存されている謁見所や御玉突所を観覧できます。また、富士山や牛臥山を望む景観等もよく保持されており、当時の様子を偲ぶことができます。</u> ○ 平成 28 年に、沼津御用邸記念公園の一部が「旧沼津御用邸苑地」として史跡名勝天然記念物の指定を受けました。 沼津市の島郷海岸は、白砂青松の風致景観を呈し、夏季は涼しい海風により避暑地、冬季は牛臥山と防風林が季節風を遮って避寒地として保養の適地。旧本邸、東附属邸、西附属邸の 3 つの地区からなり、旧本邸建物は昭和 20 年に空襲によって焼失しましたが、クロマツ林と芝生地、そして海浜に臨み、富士山・牛臥山等を望む苑地は今も風致景観をよく保持しており、近代における近郊海浜保養地の優れた風致景観を伝える事例として重要。 ○ 梅、桜(ソメイヨシノ)、ハマユウなどの四季折々の花やクロマツ林なども見どころ。
4	御殿場市立 秩父宮記念 公園 (静岡県御殿場市)	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>秩父宮雍仁親王殿下御別邸は、昭和 16 年から約 10 年間、秩父宮両殿下がお住まいになりました。御殿場市の文化財に指定されている茅葺の母屋は、一般公開されており、当時使われていた家具も保存されたりビングなどを観覧できます。また、園内には殿下専用の防空壕や故三笠宮寛仁親王殿下がお書きになられた園名板、秩父宮両殿下が陶芸を楽しまれた窯(三峰窯)も現存しており、往時の皇室の方々の営みを感じられます。</u> ○ 両殿下が愛された山野草をはじめ、桜(シダレザクラ)、ヤマユリ、つばきなど、四季折々の花を楽しむことができます。また麓から望む近景の富士山も見どころ。

<歴史的背景>

(1) 造営の経緯とその後の歴史

- 最初に造られたのは、箱根離宮（跡地は現在の恩賜箱根公園）です。わが国の医学の発展に尽くしたドイツ人医学者ベルツが、箱根の温泉治療効果にいち早く注目し、皇太子殿下（後の大正天皇陛下）の健康を願って、箱根に離宮建設を奏上しました。明治17年には伊藤博文（当時の宮内卿）が皇室の避暑、避病の地としてここに離宮を建設しようと建議したことから、同18年に建設が始まり同19年に竣工しました。



伊藤博文
国立国会図書館ウェブサイトから転載

離宮（陛下がご利用になる離れた宮殿）として、日本の皇室の方々に来訪いただいたほか、外国の皇室等の来賓も多く訪れ、特に大正11年に来日した当時の英国皇太子エドワード殿下は、箱根の町に長く親しまれたとのこと。

しかし、大正12年の関東大震災や昭和5年の北伊豆地震で被災・倒壊し、昭和20年には箱根離宮跡地が神奈川県に下賜され、同21年に恩賜箱根公園として一般公開されました。

- 次に造られたのは、小松宮彰仁親王殿下の別邸（跡地は現在の三島市立公園楽寿園）です。明治維新で活躍された軍人、小松宮彰仁親王殿下は、富士での演習の際三島に立ち寄り、小浜の地を気に入って別邸造営を決めたといわれています。明治24年6月に上棟式が行われ、同年から翌年にかけて完成されたと推定されます。

小松宮彰仁親王殿下が明治36年に薨去された後、この地を別邸としたのは朝鮮王族の李王世子垠殿下でした。李王世子垠殿下は明治45年7月に三島別邸に滞在し、以後毎年のように避暑に訪れたといわれています。昭和2年には、欧州歴訪の費用捻出のため別邸を売却した李王世子垠殿下から、当時造船・海運業を営んでいた緒明圭造翁が別邸を購入しました。その後、昭和27年から市立公園として市が管理しています。



小松宮彰仁親王殿下

- 続いて、沼津御用邸（跡地は現在の沼津御用邸記念公園）です。明治26年、皇太子殿下（後の大正天皇陛下）のご静養のために造営されました。御用邸は、皇室が主として保養のために用いる別邸でした。当時、このあたり一帯は小さな漁村でしたが、気候が温暖なうえ、前面には駿河湾、背後には富士山という風光明媚な地であることから別荘地として注目されはじめ、すでに大山巖（陸軍大臣）、川村純義（海軍大臣）、大木喬任（文部大臣）、西郷従道（陸、海軍大臣）の別荘が建てられていました。彼らはいずれも明治政府の高官で、川村純義伯爵が後に皇孫殿下（昭和天皇陛下と秩父宮殿下）の養育係になっていることを考えると、この4人の存在が御用邸設置に大きく影響したものと思われます。加えて明治22年に東海道本線が開通して東京から沼津の交通の便がよくなったことも理由の一つにあげられます。



川村純義
国立国会図書館ウェブサイトから転載

沼津御用邸には、大正天皇陛下や昭和天皇陛下、上皇陛下、今上陛下をはじめ、多くの皇室の方々が滞在されました。

また、ドイツ人医学者ベルツも、東宮従医としてしばしば訪れ、ここでの東宮一家（後の大正天皇一家）の暮らしぶりを「ベルツの日記」に記しています。

その後、昭和44年に沼津御用邸が廃止されたのち、沼津市に無償貸与され、昭和45年に「沼津御用邸記念公園」として開園しました。

- 他の3施設とは異なり、昭和になって別邸とされたのが、秩父宮雍仁親王殿下の別邸（跡地は現在の秩父宮記念公園）です。御殿場は東海道本線の開通により東京から近い高原の避暑地、別荘地として、明治中期から開発が行われてきました。貴族院議員樺山愛輔（白洲正子の父）や西園寺公望も御殿場に別邸を構えており、秩父宮御別邸は、日本銀行総裁や大蔵大臣を歴任した井上準之助の別邸を昭和16年に宮内省が買い上げ、秩父宮家の別邸となったものです。結核を患っていた秩父宮雍仁親王殿下の療養を目的に使用されました。



井上準之助
国立国会図書館ウェブサイトから転載

秩父宮妃勢津子殿下が平成7年にお亡くなりになられた際の御遺言により御殿場市に御遺贈され、園内整備後、平成15年に秩父宮記念公園として開園しました。

（2）庭園をつなぐエピソード

次のようなエピソードからは当時の皇室と富士・箱根・伊豆地域の深い結びつきや本地域間での古くからの交流が感じられます。

- 箱根離宮と沼津市立愛鷹小学校

関東大震災により倒壊した箱根離宮の西洋館は、静岡県駿東郡鷹根村（現在の沼津市の一部）に下賜され、その後、校舎が類焼していた鷹根小学校（現在の愛鷹小学校）が、これを復元し、内装材や建具もそのまま再利用して校舎を建設しました。この校舎は昭和51年に新校舎に移転するまで使用され、現在も、箱根離宮で使われていたカーテンレール（現存する国内最古の木製カーテンレールと推定されています。）などが、小学校記念室に保存されています。



沼津市立愛鷹小学校に保存された
旧箱根離宮のカーテンレール

（今年4月27日～5月6日まで恩賜箱根公園にて愛鷹小学校記念室にある建具等をパネル展示した「幻の箱根離宮展」を開催し、多くの来園者に喜ばれました。）

- 沼津垣

沼津御用邸記念公園では、箱根に多く自生している箱根竹を利用して沼津垣を製作し園内の庭園美に寄与しています。

※ 沼津垣

沼津垣は駿河湾に面した沼津に吹く、強い西風と海岸からの砂を防ぐ知恵として江戸時代には盛んに造られてきました。独特の竹垣で、丸い箱根竹を網代に編みこんだ沼津垣は職人の手で丹念に製作され、機能性のほかにも繊細な美しさも兼ねそなえています。



沼津垣

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	おんしはこねこうえん 恩賜箱根公園	構成庭園の 所在地	神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 171
1 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: right; font-size: small;">往時の箱根離宮西洋館礎石からの眺望</p>		
	<p>『概要』</p> <p>開園面積 15.9ha</p> <p>入園料金 無 料</p> <p>公開時期 通 年</p> <p>施設管理者 神奈川県 (指定管理者) (公財)神奈川県公園協会・ (株)ランドフローラグループ(団体・民間)</p> <p>年間入園者数 約 350,000 人/年(平成 30 年度)</p>	<p>恩賜箱根公園は「旧箱根離宮」跡地に広がり、公園からは芦ノ湖や箱根外輪山、富士の峰が一望でき、その見事さから「かながわ景勝 50 選」や「関東の富士見 100 景」に選定された他、当時の地形や施設の痕跡（正面傾斜地の園路や二百階段等）を生かした公園整備が行われていること等から、近代における造園文化の発展に寄与した意義深い事例として平成 25 年に国の登録記念物(名勝地関係)となりました。また、園内のアセビ、マツ、ツゲ、キャラ等は丁寧に仕立てられ、園内各所から見ることのできる富士山、箱根外輪山、芦ノ湖と見事に融合し、魅力的な景観となっています。</p> <p>春にアセビが満開を迎えると、後を追うように 300 本を超えるマメザクラが咲き誇り、ツツジやヤマユリなどがその後園内に彩りを添えます。</p> <p>年間を通じて、牡丹や菊、バラなどの花の展示、インバウンド観光を考慮し、和の文化を伝える、野点や和太鼓、尺八演奏などのイベントを開催しています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>二百階段</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>美しく仕立てられたキャラ玉</p> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>マメザクラ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヤマユリ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バラの展示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野点</p> </div> </div>			

『平面図』



箱根離宮は、日本の皇室の方々のほか、外国の皇室等の来賓も多く訪れました。離宮の建築物は震災により被災し取り壊されてしまいましたが、その遺構や、正面傾斜地の園路、二百階段など往時の施設の痕跡が現在も残されています。

また、離宮の西洋館を模して造られた「湖畔展望館」には、箱根離宮建設計画から完成までの資料、往時の宮殿や庭園の写真、離宮を訪れた来賓の記録などが展示されています。

来園者が庭園や展示を巡ることで、離宮の歴史と浪漫を感じられます。

『往時の箱根離宮』（宮内庁宮内公文書館所蔵）



正面園路



白鳥の池



西洋館

『現在の恩賜箱根公園』

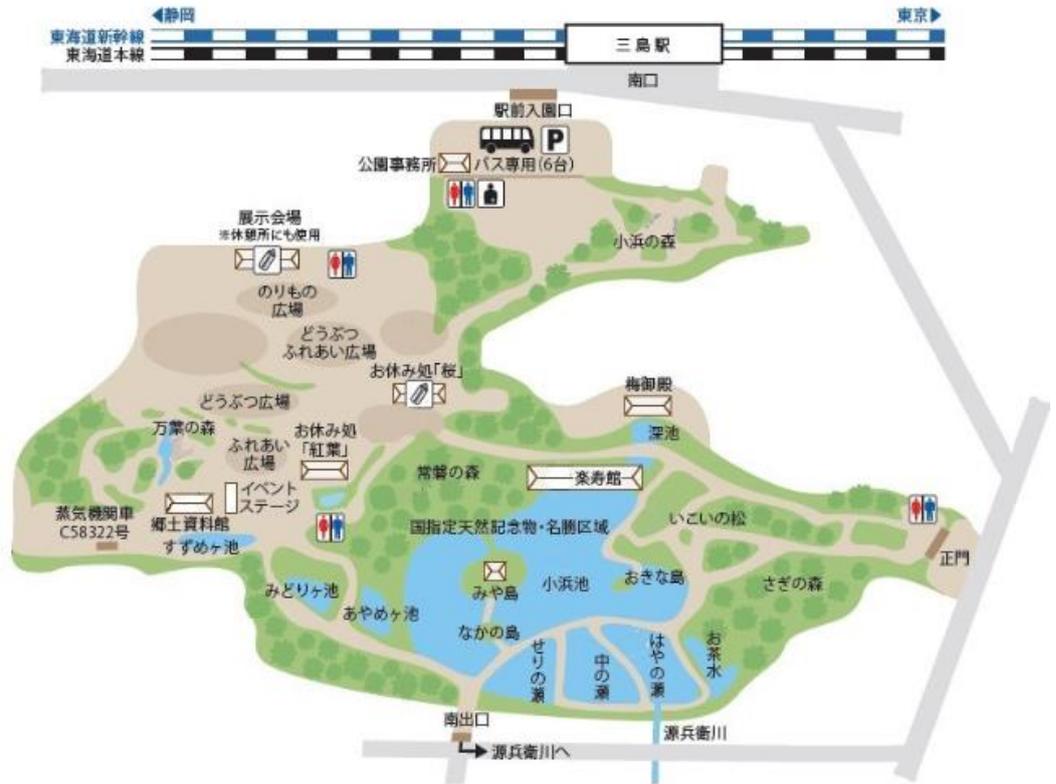


※離宮西洋館の礎石

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	みしましりつこうえんらくじゅえん 三島市立公園楽寿園	構成庭園の 所在地	静岡県三島市一番町 19-3
2 構成庭園 の概要	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  <p style="font-size: small;">満開のフジ越しの楽寿館</p> </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>『概 要』</p> <p>開園面積 7.5ha 入園料金 300 円 別途、団体料金設定及び無料適用条件有 公開時期 通 年 (休園日：毎週月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12/27~1/2)) 施設管理者 三島市 年間入園者数 約 310,000 人/年(平成 30 年度)</p> </div> <p>楽寿園は、明治 24 年に造営された明治維新で活躍された小松宮彰仁親王殿下の別邸跡地に整備され、昭和 27 年より市立公園として三島市が管理運営しています。三島駅のすぐ南に位置し、約 1 万年前の富士山の噴火の際に流れ出た溶岩流(三島溶岩流)及びその上に実生した自然林や野鳥を観察することができます。また溶岩下の伏流が出水期には清冽な水源をなし流れ出ています(小浜池等)。こうした溶岩流末端の標式的地形が豊富なものとして、昭和 29 年に史跡名勝天然記念物に指定されました。平成 30 年にはユネスコより世界認定された伊豆半島ジオパークのジオサイトに認定されています。</p> <p>現在、園内にはどうぶつ広場やのりもの広場をはじめ、郷土資料館、県・市指定の文化財「楽寿館」もあり、四季を通じて子供から大人まで楽しめる公園として親しまれています。</p> <p>3 月の雪割草展、東部鉢花展覧会、洋らん展、すみれ展を皮切りに、4 月は小品盆栽展、えびね展、5 月は春のさつきまつり、6 月は初夏の山野草展、羽蝶蘭・山野草展、9 月には水石展、10 月は秋の小品盆栽展、秋の山野草展を開催するとともに 10 月から 11 月までは楽寿園菊まつり、11 月には秋のさつきまつりを開催しています。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="font-size: small;">カワツザクラ</p>  <p style="font-size: small;">菊まつり(東海菊花大会)</p> </div>		

『平面図』



計画のテーマでの位置づけ

小松宮彰仁親王殿下や李王世子垠殿下が滞在された旧別邸は、「楽寿館」として一般公開されており、京間風高床式数寄屋造りの建物は三島市の文化財として指定され、館内の装飾絵画は静岡県の文化財として指定されています。

楽寿館の前には、三島溶岩流やその上に実生した自然林、小浜池やせりの瀬などの溶岩下の伏流を活かした庭園が広がり、現在もその景観が保持されています。小松宮彰仁親王殿下は、別邸で地元三島の市民を招いて、園遊会を催したとの記録もあり、楽寿館や庭園を巡ることにより、往時の皇室の方々の営みや市民との交流などに思いをはせることができます。



小浜池（満水時）



楽寿館（左：外観・右：内観）

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ぬまづごようていきねんこうえん 沼津御用邸記念公園	構成庭園の 所在地	静岡県沼津市下香貫島郷 2802-1
<p>3</p> <p>構成庭園 の概要</p>	<div data-bbox="389 461 1452 862" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1141 891 1452 913" data-label="Caption"> <p>沼津御用邸記念公園越しの雄大な富士山</p> </div> <div data-bbox="389 943 928 1249" data-label="Text"> <p>『概 要』 開園面積 15.6ha 入園料金 大人 100 円 小中学生 50 円 幼児無料 別途、観覧料及び団体料金設定有 公開時期 通 年 施設管理者 沼津市 (指定管理者) (株)呉竹荘・(株)日比谷アメニス 共同事業体(民間) 年間入園者数 約 100,000 人/年(平成 30 年度)</p> </div> <div data-bbox="938 943 1452 1601" data-label="Text"> <p>沼津御用邸記念公園は、明治 26 年皇太子殿下(後の大正天皇陛下)のご静養のために造営された沼津御用邸の跡地に、昭和 45 年に開設された公園です。海岸は、白砂青松の風致景観を呈し、夏季は涼しい海風により避暑地、冬季は牛臥山と防風林が季節風を遮って避寒地として保養の適地です。旧本邸、東附属邸、西附属邸の 3 つの地区からなり、旧本邸建物は昭和 20 年に空襲によって焼失しましたが、クロマツ林と芝生地、そして海浜に臨み、富士山・牛臥山等を望む苑地は今も風致景観をよく保持しており、近代における近郊海浜保養地の優れた風致景観を伝える事例として重要であるとして、平成 28 年に、沼津御用邸記念公園の一部が「旧沼津御用邸苑地」として史跡名勝天然記念物の指定を受けました。</p> </div> <div data-bbox="389 1615 1452 1792" data-label="Text"> <p>沼津御用邸記念公園には、皇太子殿下(後の今上陛下)のご成婚を記念した梅園があり、1 月中旬から 3 月上旬に見頃を迎えます。その他、春の時期は、桜や藤、夏の時期はアジサイやハマナス、秋は浜菊、冬はツワブキやスイセンなど、季節ごとに様々な彩りがご覧いただけます。</p> </div> <div data-bbox="389 1805 1061 1982" data-label="Text"> <p>また、イベントでは、鯉のぼり掲揚や端午の節句飾り、とんび凧揚げ、あじさいまつり、七夕飾り、菊華展、歌会、ひな飾りなど、年間を通して多くの行事が開催されます。</p> </div> <div data-bbox="1082 1749 1444 1982" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1161 2011 1337 2033" data-label="Caption"> <p>ご成婚を記念した梅園</p> </div>		

『平面図』



沼津御用邸は明治 26 年以降、昭和 44 年に廃止されるまで、大正天皇陛下や昭和天皇陛下、上皇陛下、今上陛下はじめ、多くの皇室の方々が来訪されました。昭和 20 年の空襲により本邸は消失したものの、東附属邸学問所や西附属邸御殿は現存しています。

東附属邸では現在も文化講座や茶会などが催され、西附属邸は当時使われていた家具備品も保存されている謁見所や御玉突所を観覧できます。また、富士山や牛臥山を望む景観等もよく保持されており、当時の様子を偲ぶことができます。

計画のテーマでの位置づけ



『奥駿河湾の眺め』牛臥山から遠く大瀬崎まで見渡す奥駿河湾の眺めは昭和天皇を始めとする皇室の方々に愛されてきました。



『西附属邸御殿謁見所』 当時使われていた家具備品も保存されており、歴史的にも重要です。和室の畳に絨毯を敷く和洋折衷方式がとられています。



『東附属邸』
左：外観・右：内観



『往時の本邸正門』



『現在の本邸正門』

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ちちぶのみやきねんこうえん 秩父宮記念公園	構成庭園の 所在地	静岡県御殿場市東田中 1507-7
4 構成庭園 の概要			
	<p data-bbox="916 887 1439 909">昭和天皇陛下より贈られた登山服姿の秩父宮殿下銅像とシダレザクラ</p> <div data-bbox="389 943 868 1245" style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;"> <p>『概 要』 開園面積 6.1ha 入園料金 大人 300円 小中学生 150円 別途、団体料金設定及び定期券有 公開時期 通年(休園日：毎月第3月曜日(祝日除く)) 施設管理者 御殿場市 (指定管理者) 御殿場総合サービス(株)(民間) 年間入園者数 約 100,000人/年</p> </div> <p data-bbox="882 943 1449 1261">秩父宮記念公園は、昭和16年から使用された「秩父宮雍仁親王殿下御別邸」の跡地に広がる公園です。秩父宮妃勢津子殿下が平成7年にお亡くなりになられた際の御遺言により御殿場市に御遺贈され、園内整備後、平成15年に秩父宮記念公園として開園しました。別邸の母屋（築280年）は御殿場市の文化財に指定されています。また、この母屋を包み込むように咲き誇る樹齢130年余りの枝垂桜は、「生涯最高の枝垂桜」と呼ばれ、ライトアップされた美しさから日本夜景遺産にも認定されています。</p> <p data-bbox="389 1424 1449 1547">夜桜ライトアップや、紅葉祭り、吊るし雛展などの魅力向上事業の他、遺贈品展示、秋の茶会、文化協会展示事業、各種緑化教室など、年間を通して多くのイベントが開催されています。</p> <div data-bbox="389 1570 916 1928">  </div> <p data-bbox="560 1951 740 1980">森のエントランス</p> <div data-bbox="924 1570 1449 1928">  </div> <p data-bbox="1086 1951 1289 1980">母屋とシダレザクラ</p>		

『平面図』



計画のテーマでの位置づけ

秩父宮雍仁親王殿下御別邸は、昭和 16 年から約 10 年間、秩父宮両殿下がお住まいになりました。御殿場市の文化財に指定されている茅葺の母屋は、一般公開されており、当時使われていた家具も保存されたリビングなどを観覧できます。

園内には殿下専用の防空壕や故三笠宮寛仁親王殿下がお書きになられた園名板、秩父宮両殿下が陶芸を楽しまれた窯（三峰窯）も現存しており、往時の皇室の方々の営みを感じられます。

園内では、秩父宮両殿下が愛された山野草など、四季折々の花が楽しめるよう、季節ごとのテーマを設けて、魅力的な庭園づくりを推進しています。



母屋のリビング



防空壕



三峰窯

その他計画の実施にあたって必要な事項

富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム協議会には、4公園の管理者の他、皇室ゆかりの民間施設の所有・管理者であるホテル事業者、地域の自治体、観光協会、交通事業者も会員として参加していただいています。これらの事業者と連携し、一体となって本事業に取り組み、富士・箱根・伊豆地域の振興に寄与します。

また、4公園を周遊するための交通手段として、一般的な鉄道やバスに加え、ケーブルカー、ロープウェイ、観光船等の様々な乗り物も利用可能であり、周遊する楽しさを十分味わうことができます。



富士屋ホテル 別館「菊華荘」
(旧宮ノ下御用邸)



強羅花壇 (旧閑院宮御別邸)

箱根



恩賜箱根公園



三島市立公園楽寿園

構成
庭園



沼津御用邸記念公園



秩父宮記念公園

交通事業者



小田急箱根ロープウェイ(株)



伊豆箱根鉄道(株)



(株)東海バスオレンジシャトル

<皇室ゆかりの民間施設（関連施設）>

構成4庭園のほか、この地域には、皇室ゆかりの次のような民間施設があります。

富士屋ホテル

宮ノ下御用邸（現富士屋ホテル別館「菊華荘」）



箱根町の宮ノ下温泉には、明治天皇の第8皇女子、富美宮允子内親王殿下の避暑を目的に明治28年に建てられた宮ノ下御用邸がありました。終戦直後の昭和21年に払い下げられました。数寄屋風書院造りの純日本建築の落ち着いたたたずまいと美しい日本庭園を特徴とし、建物は、国の登録有形文化財（建造物）となっています。

強羅花壇

閑院宮御別邸（現強羅花壇内）



閑院宮は、江戸時代に新井白石の建議により創設された宮家で、四宮家の一つです。6代閑院宮載仁親王殿下は、昭和3年、避暑のため強羅岩崎別荘に遊び、その縁で岩崎康弥氏より敷地を譲り受けて同5年に箱根に別邸を建てました。しかし、第2次世界大戦後に皇籍を離れ、別邸は強羅花壇の所有になり、平成2年より、旧別邸はレストラン「懐石料理 花壇」として利用されています。

大正11年4月に来日された英国皇太子エドワード殿下が箱根を訪問された際、閑院宮御別邸で皇太子殿下(後の昭和天皇陛下)がお迎えになられ、ご一緒にお食事をされ、翌日には、英国皇太子エドワード殿下が宮ノ下御用邸に皇太子殿下(後の昭和天皇陛下)をお尋ねになり、その後、自動車に御同乗され、芦ノ湖に向かわれたとの新聞記事が残っています。

英国皇太子エドワード殿下が、芦ノ湖に向かわれたとされた日に、箱根離宮にもご訪問いただいたとの記録があることから、両国の皇太子殿下が共に芦ノ湖と箱根離宮にご来訪いただいたのではないかと推察されます。

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

- パンフレット等の相互配架
- 共同ポスター・チラシの作成配布
 - ・皇室ゆかりの4公園及びイベントを紹介するポスターやパンフレットを作成。
- ツアー
 - ・静岡デスティネーションキャンペーン特別企画で「皇室ゆかりの地巡り」として、沼津御用邸記念公園、三島市立公園楽寿園、秩父宮記念公園を巡るツアーを実施。

The collage features several promotional items:

- A brochure titled "皇室ゆかりの地を巡る" (A Journey Through the Land of the Imperial Family) with text about visiting historical sites like the Imperial Household Agency and various palaces.
- A travel agency advertisement for "株式会社ジェイアール東海ツアーズ" (JR East Tours) for a "Meiji, Taisho, Showa Imperial Romance" tour. It includes a table of tour prices and details.
- A "5 Plus Counter" (5プラスカウンター) sign for JR East Tours, providing contact information and a website link.

(2) 今後の取組

- パンフレット等の相互配架や共同ポスター・チラシの作成配布は継続して実施すると共に、次のような事業を今後実施予定。
- 共同イベント（周遊スタンプラリー、桜・菊のイベント同時開催）
 - 皇室ゆかりの庭園巡りツアーの実施に向けた調整
 - 共通ポストカード・チケット・土産物の販売
 - 庭園文化・技術の継承のため、研修の場として造園を学ぶ人たちを受け入れる。

(3) 協議会の構成員

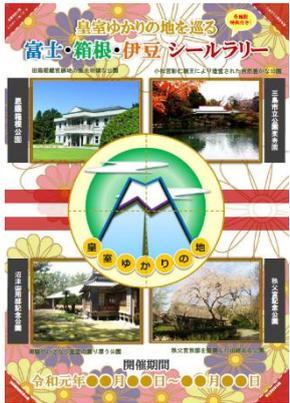
- 【正会員】**
- 公園管理者（地方公共団体）
沼津市、三島市、御殿場市、神奈川県
 - 指定管理者
株式会社呉竹荘・株式会社日比谷アメニス
御殿場総合サービス株式会社
公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社ランドフローラ
- 【賛助会員】**
- 静岡県、箱根町、特定非営利活動法人沼津観光協会、一般社団法人三島市観光協会、一般財団法人箱根町観光協会
 - 小田急箱根ホールディングス株式会社
 - 伊豆箱根鉄道株式会社
 - 株式会社東海バスオレンジシャトル
 - 富士屋ホテル株式会社
 - 強羅花壇

(4) 事業の実施体制	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 協議会会長（沼津市）のもと、会員及び賛助会員で協力して、事業を実施する。 ○ 事務局は、恩賜箱根公園管理事務所に置き、同公園の指定管理者である公益財団法人神奈川県公園協会が庶務を行う。 	
(5) 具体的な事業	様式 1-8 のとおり

具体的な事業一覧表

<p>事業名①</p>	<p>共同での広報・PR パンフレット等の相互配架や共同ポスター・チラシの作成配布、Webでの発信</p>		
<p>実施主体</p>	<p>協議会</p>	<p>事業期間</p>	<p>2018 年度 ~ 2022 年度</p>
<p>実施施設</p>	<p>構成4庭園ほか</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○ 4公園のパンフレットを相互配架。 ○ 4公園の共同ポスター・チラシの作成配布 ○ Webでの発信（HPやSNSで、富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズムの情報を発信。）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="335 913 686 1406"> <p>皇室の面影を訪ねて 箱根〜三島・沼津〜御殿場</p> </div> <div data-bbox="710 913 1061 1406"> <p>皇室ゆかりの地 見て歩き! 2019年春のイベント</p> </div> <div data-bbox="1085 913 1436 1406"> <p>皇室ゆかりの地 見て歩き! 2019年春のイベント開催予定表</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 公園紹介共同ポスター イベント紹介共同チラシ(表) イベント紹介共同チラシ(裏) </p> <p>※ 今後、賛助会員の協力も得ながら、パンフレット等の配架場所の拡大やパンフレット等の内容の充実を図る。</p>		

具体的な事業一覧表

事業名②	共同イベント（周遊スタンプラリー、桜・菊のイベント同時開催等）		
実施主体	協議会	事業期間	2019 年度 ～ 2022 年度
実施施設	構成 4 庭園ほか		
事業概要	<p>○ 周遊スタンプラリー（右図イメージ） 秋の菊の展示時期に合わせ 4 公園を巡るスタンプラリーを実施し、4 公園全て巡った来園者にプレゼントを贈呈。併せて、他のガーデンツアーリズムについても情報提供する。</p>  <p>○ 桜、菊など 4 公園共通の花の時期にイベントを同時又はリレー式に開催し、共同でPR することで利用促進を図る。 <春には 4 公園でそれぞれ異なる桜を楽しめます></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>恩賜箱根公園（マメザクラ）</p> <p>三島市立公園楽寿園（カワヅザクラ）</p> <p>沼津御用邸記念公園（ソメイヨシノ）</p> <p>秩父宮記念公園（シダレザクラ）</p> </div> <p><秋には菊のイベントを同時開催></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>恩賜箱根公園</p> <p>三島市立公園楽寿園</p> <p>沼津御用邸記念公園</p> <p>秩父宮記念公園</p> </div> <p>※ 今後、賛助会員の協力も得ながら、賛助会員の施設等も参加した共同イベントの開催も実施していきたい。</p>		

具体的な事業一覧表

<p>事業名③</p>	<p>皇室ゆかりの庭園巡りツアーの実施に向けた調整</p>		
<p>実施主体</p>	<p>協議会</p>	<p>事業期間</p>	<p>2018 年度 ~ 2022 年度</p>
<p>実施施設</p>	<p>構成 4 庭園ほか</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○ 協議会で皇室ゆかりの庭園ガーデンツーリズムの魅力を旅行会社にアピールすること等により、周遊ツアーの実施を実現する。</p> <p><個人向け周遊例（公共交通機関）></p>  <p><団体向け周遊例（貸切バス等）></p> 		

具体的な事業一覧表

事業名④	共通ポストカード・チケット・土産物の販売		
実施主体	協議会	事業期間	2019 年度 ~ 2022 年度
実施施設	4 庭園ほか		
事業概要	<p>○ 4 庭園各々を代表する写真をセットにして、「皇室ゆかりの庭園ポストカード」として販売する。 (現在、恩賜箱根公園で販売しているポストカード)</p>  <p>○ 構成庭園の入園料等や関連施設のサービス等を組み合わせた共通チケットを作成販売し、ツーリズムの促進を図る。</p> <p>○ 4 公園が立地する各々の地域の銘菓等をセットにして、「皇室ゆかりの庭園を巡る銘菓」等のお土産を販売する。</p>		

具体的な事業一覧表

<p>事業名⑤</p>	<p>庭園文化・技術の継承のため、研修の場として造園を学ぶ人たちの受入</p>		
<p>実施主体</p>	<p>協議会</p>	<p>事業期間</p>	<p>2020 年度 ~ 2022 年度</p>
<p>実施施設</p>	<p>4 庭園ほか</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○ 大学及び学生等のニーズを調べた上で、造園を学ぶ人たちが文化的価値の高い構成庭園等を巡ることで、造園文化や技術が学べるようなプログラムを提案し、実施に結びつける。</p> <div data-bbox="338 857 1414 1411" data-label="Image"> </div> <p>※ 平成 30 年度に恩賜箱根公園で造園を学ぶ学生を受け入れ、庭園の歴史や造園技術などの講習を行った際の写真。</p>		